

令和2年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	大宮ふれあい福祉センター
(2)施設概要	<p>①所在地 大宮区土手町1-213-1</p> <p>②施設の設置目的 障害者福祉、高齢者福祉等を目的として自主的に活動する団体に対し、活動の場を提供するとともに、障害者及び高齢者に対し、教養の向上及び社会との交流の促進のための便宜を供与し、もって市民の福祉の増進を図ることを目的としています。</p> <p>③施設の概要 開設時期：平成7年5月 規模：敷地面積1,795.12㎡、延床面積4,011.19㎡、地上4階地下1階 会議室、福祉団体活動室等</p>
(3)指定管理者	社会福祉法人さいたま市社会福祉事業団
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日</p> <p>②指定管理料 平成30年度40,387千円、令和元年度41,670千円、令和2年度43,197千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運営業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況 ・利用者数 19,224人(前年度40,720人) ・稼働率 37%(前年度42%)</p> <p>◇業務実施状況 福祉活動の拠点としての機能の強化、市民・福祉団体の交流の支援、福祉関係情報の発信、福祉施設と地域住民の交流の促進を図った。</p> <p>②維持管理業務の状況 建築設備、昇降機、自動ドア、消防設備、機械設備、給排水設備等の法定、定期点検及び迅速な修繕の実施</p>
(6)収支状況	<p>①収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用料金収入 965千円 (前年度1,593千円) ・指定管理料 43,197千円 (前年度41,670千円) ・その他の収入 1,268千円 (前年度3,921千円) <p>②支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費 6,729千円 (前年度8,705千円) ・事務費 5,220千円 (前年度5,301千円) ・施設管理費 29,434千円 (前年度30,015千円) ・事業費 582千円 (前年度819千円)
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	法人全体では、さいたま市社会福祉事業団「みなさまの声」設置要項による投書箱の設置、福祉サービス利用者アンケートの実施等、様々な状況で利用者からの意見・要望を受け付ける機会を設けた。
(8)その他	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年4月1日から令和2年5月31日及び令和3年1月26日から令和3年3月21日まで施設利用が休止となり、また、利用休止期間以外においても、利用時間の短縮や利用人数等の制限も行った。そのため、施設利用予定であった利用者に対しては、その都度利用制限についての説明を丁寧に行い、利用者の不都合になる場合においては、利用料金の返金等の対応も実施した。休止期間中においても、会議室の申込み及び電話での予約対応ができるよう受付体制を整えることでサービスの維持に努めた。

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
福祉活動の拠点としての機能を高める。 ・安全、安心な施設 ・利便性の向上 ・分かりやすい利用方法	新型コロナウイルス感染症対策のため、館内の各出入口や会議室等の消毒用品の整備、センターで行っている利用制限についての利用者への分かりやすい掲示等を作成し、利用者によく周知した。また、来館された方が感染症予防対策に気を付けていただけるよう使用方法等の情報を掲載したポスターを館内に掲示し、周知を行った。
市民・福祉団体の交流を支援する。 ・情報交換の場の設定 ・福祉団体のイベント開催補助 ・利用者懇談会の実施	密を避けるため、毎年実施していた利用者懇談会は中止とした。また、当センターを会場として福祉団体が主催して行っていた「ふれあいパーク」も中止とした。来年度以降の開催に向けて、「ふれあいパーク」の実行委員長と個別に情報交換を行い、課題の確認や福祉団体のコロナ禍での活動状況を確認した。
すべての市民に分かりやすい福祉関係情報の発信に努める。 ・福祉関係情報の設置 ・関係機関等との連携 ・施設情報の広域的発信 ・相談窓口の設置	来館される方々が安心して福祉関係の情報冊子等を手に取っていただけるよう、冊子を設置している1階ロビーのレイアウトを変更した。 今年度においては、利用休止や利用制限の変更が幾度も発生したが、その都度館内掲示の変更に併せて、法人のホームページにおいてもその旨の情報提供を迅速に行い、利用者に対して情報提供に努めた。
福祉施設と地域の住民の交流を促進する。 ・福祉施設による販売所の効果的な設置 ・地域との交流行事の開催	1階ロビーにて実施している福祉施設の販売所について、コロナ禍においても団体が安心して活動できるよう環境の整備を行った。 地域との交流行事については、文化振興事業団と協議を行った結果、今年度は開催しないこととした。また、地域自治会との交流行事についても、自治会の意向に沿って中止することとした。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年とは異なる対応・対策が求められた。施設の運営に関しては、利用制限の中、日常点検と業務の引継ぎを日々行うとともに、消毒用品等の設置、共有スペースの配置の工夫等感染症拡大防止対策を徹底し、安心安全な施設運営を継続することができた。また、会議室等の貸出を制限するために予約の変更、返金処理等をする際、丁寧な対応を心掛けた結果、新型コロナウイルス感染症に関する対応の苦情は1件もなかった。
設備管理に関しては、誘導灯機器交換、自動ドア部品交換等、経年変化や老朽化に伴う不具合に対し迅速に対応し修繕を行った。
地域との交流行事については、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったが、事前の話し合いの中で次年度以降も連携しながら開催することを確認した。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:保健福祉局福祉部福祉総務課)

総合評価(B) ※A~D
地域福祉の活動拠点としての設置目的を達成するため、建物設備等に不具合が発生した際、迅速な対応による機能回復が図られ、安心・安全な施設管理が行われていた。
新型コロナウイルス感染症の拡大防止への対応においては、施設の利用方法等の周知や利用者への情報提供が迅速に行われたことで、トラブル無く施設運営が行われていた。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き新型コロナウイルスの感染拡大防止のための対策を行いながらの運営となるが、対策を徹底した施設管理を継続し、地域福祉の活動拠点としての機能が発揮されるよう指導していきたい。
また、地域との交流行事については、開催が可能な状況になった場合に速やかに準備に取り掛かれるよう、関係機関との調整を進めてほしい。